

(別紙様式1)令和2年度 食品安全対策関連予算 概要

単位:千円

施策	施策	NO.	施策名	事業名	事業概要	R1 予算額	R2 予算額	担当課室等
施策の方向性1 食品等の安全性の確保	ア1 1-1-1	コンプライアンスの周知啓発の推進	食品製造・流通安全確保対策費(食品表示適正化事業分)	県民の生命にかかわる食の安全を守るため、食品表示の適正化のため、県内に流通する食品について、アレルギー、食品添加物、遺伝子組換え食品の検査を実施し、科学的な根拠に基づいた食品関係事業者の監視指導を実施。	2,634	2,789	生活衛生課	
			食品表示適正化推進事業費	メニュー表示をはじめとする食品表示の適正化を進めるため、関係事業者団体を通じた食品表示法講習会の開催や適正なメニュー表示の啓発活動を行うとともに、抜き打ちによる立入検査等を実施。	0	0	県民生活課	
	管2 理の自主推進衛生	1-2-1	HACCPの導入支援	HACCP制度化普及推進事業	HACCP導入の制度化の施行に向け、研修会の開催やリーフレットの配布等により、未導入の事業者に対し、導入支援を実施。また、導入推進にあたる事業者団体の支援を実施。	1,800	5,000	生活衛生課
	3 監視指導・検査の推進	1-3-1	食中毒対策	食品監視指導対策費	食品衛生法・施行条例等に基づく監視指導を実施。また、食中毒事案等への対応や保健所職員の研修を実施。	16,394	15,128	生活衛生課
				食中毒事故防止調査費	県内で開催されるイベントに弁当及びそうざい製品を提供する施設を調査し、その結果に基づき指導・助言を行い食中毒の事故防止を図る。		487	生活衛生課
				獣肉加工・消費拡大促進事業費	「ぎふジビエ衛生ガイドライン」の周知等を通して衛生的なジビエの普及に取り組みとともに、それに基づいて解体処理された獣肉の流通・消費拡大を支援	3,170	3,170	農村振興課
				獣肉処理流通モデル事業費補助金	「ぎふジビエ衛生ガイドライン」に則して解体処理を行うために必要な施設整備について支援	3,000	5,000	農村振興課
	1-3-2	アレルギー対策	食品製造・流通安全確保対策費(食品表示適正化事業分)(再掲1-1-1)	県民の生命にかかわる食の安全を守るため、食品表示の適正化のため、県内に流通する食品について、アレルギー、食品添加物、遺伝子組換え食品の検査を実施し、科学的な根拠に基づいた食品関係事業者の監視指導を実施。	-	-	生活衛生課	
	1-3-3	放射性物質対策	農畜産物の放射性物質モニタリング検査事業費	県内で生産される主要な農畜水産物について、収穫時期にあわせて放射性物質のモニタリング検査を実施する。	459	459	農政課、農産園芸課、畜産振興課	
	1-3-4	農薬対策	農薬安全使用総合推進指導事業費	農薬販売者への立入検査、農薬管理指導士の養成・更新研修の開催、農業者の農薬安全使用及び農薬使用状況の記録の指導等。	2,100	2,100	農産園芸課	
			食品製造・流通安全確保対策費(残留農薬等体制強化事業分)	県内に流通する野菜、果実等の残留農薬等の検査を実施。	13,935	13,785	生活衛生課	
			残留農薬等検査機器リース経費(LC/MS/MS)新規	食品衛生法における極めて微量な検出基準に対応するための高精度な検査機器(LC/MS/MS)のリース料		13,167	生活衛生課	
			残留農薬等検査機器リース経費(LC/MS/MS)更新分	食品衛生法における極めて微量な検出基準に対応するための高精度な検査機器(LC/MS/MS)のリース料	12,594	12,594	生活衛生課	
	1-3-5	食品添加物対策	食品製造・流通安全確保対策費(食品表示適正化事業分)(再掲1-1-1)	県民の生命にかかわる食の安全を守るため、食品表示の適正化のため、県内に流通する食品について、アレルギー、食品添加物、遺伝子組換え食品の検査を実施し、科学的な根拠に基づいた食品関係事業者の監視指導を実施。	-	-	生活衛生課	
	1-3-6	遺伝子組換え食品対策	採種指導運営事業	異品種や遺伝子組換え種子の混入のない原品種・原種の品質維持体制の強化を図る。	1,828	2,669	農産園芸課	
	1-3-7	環境汚染物質・環境因子対策	環境汚染化学物質監視等事業(ダイオキシン類常時監視)	ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、県内の大気、水質(河川、地下水)、土壌、河川底質のダイオキシン類による汚染状況を継続的に測定、把握し、対策を推進。	4,620	4,639	環境管理課	
			主要農作物重金属等安全対策推進事業	県内主要農産物のカドミウム、鉛、ヒ素の実態調査を行い、重金属リスク管理を推進。	800	1,675	農産園芸課	
	1-3-8	畜水産物対策	畜産物安全対策事業	食肉・鶏卵の生産段階での薬剤耐性菌等の検査及び動物用医薬品等の使用実態を調査し、動物用医薬品等の適正使用の徹底を指導し、畜産物の安全性の確保を図る。	1,179	1,179	家畜防疫対策課	
			家畜衛生指導調査費	獣医師法、獣医師療法及び旧薬法に基づき、家畜診療施設、動物用医薬品販売業者を立入検査し、適正な獣医療の提供を図り、動物用医薬品の適正な販売を監視。	568	568	家畜防疫対策課	
			家畜伝染病予防事業(検査指導費)	家畜の飼養段階における衛生管理を適正化し、伝染性疾患の発生を予防するため、飼養に係る衛生管理の方法に関して家畜の保有者が遵守すべき基準を飼養者へ普及啓発する。	4,967	4,629	家畜防疫対策課	
食品製造・流通安全確保対策費(食肉中残留物質モニタリング検査費分)			県内と畜場や食鳥処理場で処理された食肉や県内に流通する輸入食肉、鶏卵等の残留動物医薬品の検査を実施	1,531	1,531	生活衛生課		
BSE等対策費			消費者の不安を解消するため、牛の検査を実施するための経費	382	382	生活衛生課		
伝達性海綿状脳症検査キット購入費				556	561	生活衛生課		
死亡牛BSE検査推進事業費			死亡牛BSE検査の推進を図り、県内の清浄性確認及び迅速かつ確実な防疫措置による蔓延防止を図る。	4,272	1,795	家畜防疫対策課		
高度病性鑑定費				8,673	8,673	家畜防疫対策課		
養殖衛生管理体制整備事業費	養殖生産者に対する指導、食品衛生や環境保全にも対応した幅広い養殖衛生管理技術の普及、養殖場の調査・監視、薬品残留検査の実施、薬剤耐性菌の実態調査を行う	1,928	2,072	里川振興課				

※予算額欄の「0」はゼロ予算 「-」は再掲等

(別紙様式1)令和2年度 食品安全対策関連予算 概要

単位:千円

施策	施策	NO.	施策名	事業名	事業概要	R1 予算額	R2 予算額	担当課等
施策の方向性1 食品等の安全性の確保	3 監視指導・検査の推進	1-3-9	健康食品対策	健康食品情報発信・相談応需事業	健康食品による健康被害を防止等するため、各保健所に「食品保健指導士」を置くとともに、「健康食品相談窓口」を設置し、県民からの相談に応ずる体制を整備する。また、事業者向け講習、健康食品の買上げ調査、啓発資料の作成等を行う。	1,302	1,054	薬務水道課
		1-3-10	食品表示対策	食品リスク管理向上対策事業費(食品表示適正化対策推進事業分)	食品表示の適正化を図るために、関係法令に基づく食品表示の監視指導を実施するとともに、事業者向け講習会を開催する。	2,275	2,274	生活衛生課
				食品表示適正化推進事業費(再掲1-1-1)	メニューや食材の誤表示を防ぐため、ホテルや旅館などの料理店等を対象とした食品表示法説明会を実施。	—	—	県民生活課
		1-3-11	輸入食品対策	食品安全総合対策費(輸入加工食品残留農薬検査委託分)	輸入加工食品を対象に、有機リン系農薬検査を登録検査機関への委託により実施。	1,744	1,615	生活衛生課
	1-3-12	食品廃棄物対策	食品監視指導対策費(再掲1-3-1)	食品廃棄物の不正転売防止を図るため、県内の関連事業者に対し監視指導を行い、食品廃棄物の適正処理を確認する。	—	—	生活衛生課	
4 構築危機管理体制	1-4-1	危機管理対策の推進	食品安全総合対策費(輸入加工食品残留農薬検査委託分を除く)	食品による健康被害の未然防止や拡大防止のため、食品関連事業者と連携した体制の構築を図るとともに、県が実施した施策に対して県民との意見交換を開催し、施策を説明するとともに県民の意見・要望を聴取し、県民が真に望む施策展開を図る。また、県民が食品の安全に対する知識の向上と理解を深めるための講座、シンポジウム、セミナーを開催する。	2,675	2,742	生活衛生課	
	小計1					95,386	111,737	
施策の方向性2 食品に対する安心感の向上	1 リスクコミュニケーションの推進	2-1-1	双方向のリスクコミュニケーション	食品安全総合対策費(輸入加工食品残留農薬検査委託分を除く)(再掲1-4-1)	食品による健康被害の未然防止や拡大防止のため、食品関連事業者と連携した体制の構築を図るとともに、県が実施した施策に対して県民との意見交換を開催し、施策を説明するとともに県民の意見・要望を聴取し、県民が真に望む施策展開を図る。また、県民が食品の安全に対する知識の向上と理解を深めるための講座、シンポジウム、セミナーを開催する。	—	—	生活衛生課
				暮らしの安全出前講座推進事業費	県民の要望に応じ、消費生活相談員等による県民への出前講座を実施。	3,294	3,546	県民生活課
		2-1-2	食品の安全と信頼に関する情報の提供	食品安全相談員設置費	輸入食品等の安全性など、食品に関する消費者、食品事業者からの相談に対応するため、5保健所に食品安全相談員を配置。	19,300	20,602	生活衛生課
		2-1-3	県民の意見の収集と活用	食品安全総合対策費(輸入加工食品残留農薬検査委託分を除く)(再掲1-4-1)	食品による健康被害の未然防止や拡大防止のため、食品関連事業者と連携した体制の構築を図るとともに、県が実施した施策に対して県民との意見交換を開催し、施策を説明するとともに県民の意見・要望を聴取し、県民が真に望む施策展開を図る。また、県民が食品の安全に対する知識の向上と理解を深めるための講座、シンポジウム、セミナーを開催する。	—	—	生活衛生課
	2 関する食品の教育の推進	2-2-1	学校等における食品安全教育の推進	食品安全総合対策費(輸入加工食品残留農薬検査委託分を除く)(再掲1-4-1)	食品による健康被害の未然防止や拡大防止のため、食品関連事業者と連携した体制の構築を図るとともに、県が実施した施策に対して県民との意見交換を開催し、施策を説明するとともに県民の意見・要望を聴取し、県民が真に望む施策展開を図る。また、県民が食品の安全に対する知識の向上と理解を深めるための講座、シンポジウム、セミナーを開催する。	—	—	生活衛生課
		2-2-2	地域社会における食品安全教育の推進	食品安全総合対策費(輸入加工食品残留農薬検査委託分を除く)(再掲1-4-1)	食品による健康被害の未然防止や拡大防止のため、食品関連事業者と連携した体制の構築を図るとともに、県が実施した施策に対して県民との意見交換を開催し、施策を説明するとともに県民の意見・要望を聴取し、県民が真に望む施策展開を図る。また、県民が食品の安全に対する知識の向上と理解を深めるための講座、シンポジウム、セミナーを開催する。	—	—	生活衛生課
	3 食品の安全に関する各認定制度の活用	2-3-1	食品の安全に関する各認定制度の普及推進	清流を守る環境保全型農業等総合推進事業費	ぎふグリーン農業や有機農業等、環境への負荷が少なく、安全・安心な農産物を県民に供給する環境保全型農業の普及推進を図るため、ぎふグリーン農業の生産登録・更新業務、有機農業の推進を実施する。	1,610	2,677	農産園芸課
				獣肉加工・消費拡大促進事業費(再掲1-3-1)	ぎふジビエ衛生ガイドラインに沿った安全・安心な野生獣肉であることを明確にするため、飲食事業者、加工業者、消費者等の利活用意欲を高めることを目的に創設した「ぎふジビエ登録制度」による登録店舗を拡大する。	—	—	農村振興課
				ぎふ食べきり運動推進事業費	本県の1人1日あたりのごみ排出量(28年度)は892gで、全国平均(925g)よりも低く、平成19年度以降は減少傾向が続く。ただ、家庭からの生ごみの約4割を食べ残しが占めるため、さらなる減量化のためには、県民に対し食品廃棄物削減の効果的な啓発が必要である。食品廃棄物削減の普及啓発について市町村や、NPO法人等の民間団体、企業等と連携して取り組む。	3,561	3,668	廃棄物対策課
				健康な食環境づくり推進事業費	生活習慣病減少のための健康な食環境を整備するため、健康に配慮したメニューを提供する飲食店舗をぎふ食と健康応援店として登録し、県民が身近に利用する飲食店を通じて健康づくりの意識を向上する。	848	936	生活衛生課
小計2					28,613	31,429		

(別紙様式1)令和2年度 食品安全対策関連予算 概要

単位:千円

施策	施策	NO.	施策名	事業名	事業概要	R1 予算額	R2 予算額	担当課等
施策の方向性3 将来にわたる安全な食生活の確保	消費の県内進産農畜産物の生産・	3-1-1	環境にやさしい農業の推進	清流を守る環境保全型農業等総合支援業務費	ぎふクリーン農業や有機農業等環境保全効果の高い農業を推進するのに有効な県試験研究機関で開発された新技術の導入や残留農薬の自主検査、ぎふクリーン農産物のPR等に必要経費を助成する。	5,900	4,709	農産園芸課
		3-1-2	地産地消の推進	清流の国ぎふ地産地消運動推進事業	消費者や企業・団体を対象に、県内農産物や加工食品等の購買を促すため「ぎふ地産地消ネットワーク」を形成し、地産地消キャンペーンを展開する。	4,140	4,140	農産物流通課
				「県産品愛用推進宣言の店」指定事業	地域で生産される県産品を地域で消費する活動を促進するため、県産品愛用に積極的に取り組む店舗等の普及、活動を支援する。	3,000	3,000	県産品流通支援課
	を支援する食品の調査研究	3-2-1	食品の安全を支える調査研究の推進・活用	重点研究・地域密着型研究プロジェクト研究(うち食品の安全に関する研究課題)	食品等の生産から消費に至る間で生じる諸課題について研究開発を行う。試験研究機関の研究成果から、県内企業・農業生産者等への実利用を図る。	9,789	8,690	農政課
	保を3守る食人品の安全	3-3-1	食品の安全を守る人材育成の推進	食品衛生指導員活動費	(公社)岐阜県食品衛生協会がおこなう、食品衛生の専門知識のある食品衛生指導員による食品関係業者への施設巡回指導、食品従事者への教育指導、衛生講習会の開催等を支援する。	1,100	1,100	生活衛生課
				給食指導業務費	集団給食施設に対する巡回指導及び立入調査、集団指導等を行う。給食施設が適切な栄養管理を実施し、よりよい栄養管理・給食管理ができるよう、給食施設従事者研修会を	997	997	保健医療課
	小計3					24,926	22,636	
合計					148,925	165,802		